



病院探訪第6回は臨床工学技術部です。

臨床工学技術部には14名の臨床工学技士が在籍しています。(2025年3月現在)

臨床工学技士は、医療機器のスペシャリストとして、現代のチーム医療に欠かせない存在です。チーム医療の一員として、人工呼吸器や人工心肺装置、血液透析装置などの「生命維持管理装置」に代表される医療機器を操作して、患者さんの命を守ります。

今回の病院探訪では、臨床工学技士の仕事内容をご紹介します。



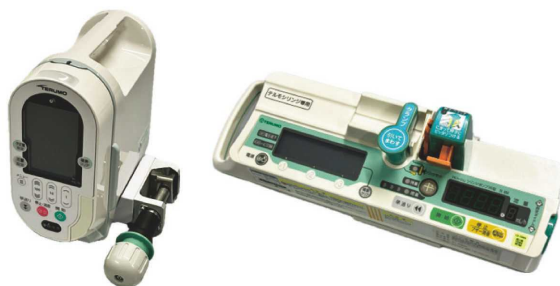
臨床工学技士の主な仕事について（特に★印を紹介します！）

- ①医療機器保守管理業務（★）
- ②人工心肺業務
- ③血液浄化業務（★）
- ④心血管カテーテル業務
- ⑤不整脈アブレーション業務（★）
- ⑥植込み型心臓電気デバイス管理業務
- ⑦内視鏡関連機器管理業務（★）
- ⑧呼吸治療業務
- ⑨術中神経モニタリング業務
- ⑩ロボット支援手術業務（★）
- ⑪集中治療業務



①医療機器保守管理業務

清潔で整備された医療機器を患者さんに提供することを目的として、本館3階の医療機器管理室では集約管理を実施しています。この部屋には医療機器管理システムを設置し、機器保有台数などを把握することに加えて、貸出や返却をQRコード管理することで効率的な運用ができています。



輸液ポンプ(左) やシリンジポンプ(右)
点滴や薬剤を注入するのに使います

③血液浄化業務 ～ここでは主に透析について～

透析とは腎臓の機能が低下した時に、腎臓の働きの一部を補う治療法です。血液透析をする際に必要な「シャント(静脈と動脈をつなぎ合わせた太い血液の通り道)」への穿刺だけでなく、透析装置の操作、管理や透析液の清浄化も行っています。



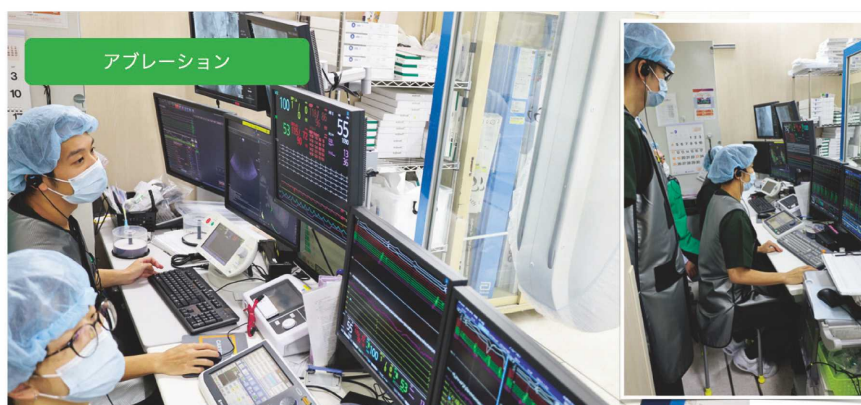
シャントへの穿刺



透析液の管理(液作成や濃度管理など)

⑤不整脈アブレーション業務

不整脈アブレーションは脈が速くなる頻脈性の不整脈に対し、原因となる異常心筋やその周囲をカテーテルで焼き、不整脈を停止させる治療です。その治療ではさまざまな医療機器を使用しますが、3Dマッピング装置は欠かせない医療機器です。またポリグラフという機器を用いて心電図を観察、計測することも重要です



⑦内視鏡関連機器管理業務

内視鏡室での業務内容は内視鏡カメラシステムのセッティングや検査に使用するファイバーの洗浄機を含めた周辺機器の保守点検を行うだけでなく、安全管理にも努めています。また、通常の内視鏡検査の他にも多くの特殊症例の治療に対応しています。



臨床工学技士の おはなし

『臨床工学技士の名称の由来』について

臨床工学技士の名称は、臨床医学と工学系の知識を有する資格であることから、医療(Medical)工学技士(ME：エムイー)ではなく、臨床(Clinical)工学技士(CE：シーイー)とされました。当センターでもCE(シーイー)と呼ばれています。



院内では深緑のスクラブ
(医療ウェア)を着ています！



日本臨床工学技士会マスコット
シープリン

⑩ロボット支援手術業務

ロボット支援手術は、低侵襲な鏡視下手術をロボット機能を用いて行うものです。

術者（医師）が装置を遠隔で操作し、コンピュータを通してロボットが忠実に連動し、手術が進められます。ロボット手術システムは非常に精密な機器から構成されるため、臨床工学技士はロボットの準備や電源確保、ロールイン（術野にセットアップする）などを担当し、術後もシステムに異常が生じていないか確認するなど活躍の場が拡大してきています。

手術支援ロボットシステム（ダビンチ）



ロールインを行っている臨床工学技士（矢印）とロボット（右）



臨床工学技術部は当センターの3Fに位置する医療機器管理室を中心に、所属する14名の臨床工学技士が透析室や手術室、カテーテル室など院内全域において活躍しており、24時間365日、安心安全な医療機器および医療技術の提供ができるような体制を構築しています。

また、最近では上記のようなロボット支援手術も件数が増加してきました。医療や医療機器の進歩は日進月歩です。これからも様々な医療職種と連携を図りながら、医療の進歩とともに歩み、チーム医療の一翼を担っていきたいと考えています。



臨床工学技術部
技師長 寺田 賢二

● お知らせ ●

在宅ケアに関わる職種対象の講座

西和MC在宅支援講座 (Web)

- 令和7年6月12日 (木) 17:30～18:30
摂食嚥下障害看護認定看護師
- 令和7年9月11日 (木) 17:30～18:30
がん看護専門看護師



医療職対象の講座

地域医療連携講座 (会場とWebのハイブリッド開催)

- 令和7年5月15日 (木) 14:00～15:00
泌尿器科・看護部
- 令和7年7月17日 (木) 14:00～15:00
整形外科・リハビリテーション部
- 令和7年9月18日 (木) 14:00～15:00
腎臓内科・栄養管理部

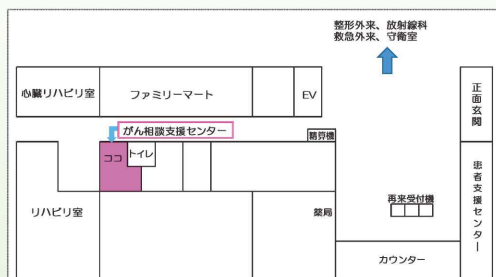
*変更の可能性もあります。
詳細はお問い合わせ下さい。



がん相談支援センターからのお知らせ

がん相談支援センターでは、がん患者さんやご家族のからだや気持ち、生活に関する心配や困りごとをがん専門相談員が伺い、一緒に解決方法を考えていきます。
がんに関する冊子や書籍もご用意しております。見学も可能ですので、お気軽にお越しください。

- ◆ 場 所
1階ファミリーマート前
- ◆ 受付時間
平日 9:00～16:00



★表紙掲載のロゴマークについて

奈良県西和医療センターは安全で良質な医療サービスを提供するため、国際基準を満たした品質マネジメントを構築し、2022年12月12日にISO9001の認証を取得しました。医療の質における継続的な改善活動に取り組むことで「いい医療をより多くの患者さんへ」提供し、奈良県民の命と安全を守ることに貢献します。

「ファミリー」は年に3回の発刊を予定しております。地域の皆様の健康に役立ち、親しまれ愛される紙面作りをめざしてまいります。「ファミリー」とは、フランス語で「家族」という意味で、病院の理念「患者さんを家族のように愛する」から情報誌の名前としました。

住民の皆様役に役立つ情報・当院との連携についてなど、地域の登録医の先生方の投稿をお待ちしております。詳細は地域医療連携室にお問い合わせください。

発行・編集

奈良県西和医療センター情報誌

発行日 令和7年5月1日

編集者 地方独立行政法人奈良県立病院機構

奈良県西和医療センター 広報委員会

〒636-0802 生駒郡三郷町三室1-14-16

TEL:0745-32-0505(代表) FAX:0745-31-1354(地域医療連携室)

